ききは、目先落付きで、休止さきは、目先落付きで、休止 前さ大筦なく一般にネフさした然し大豆は月初めは銀安で 一度び市場が休止されるや商 診が頓達し、又ドイフの人造 がが頼速し、では月初めは銀安で

二十日には敦國線が開始してで、嶺洲國連國紀念日さ共に

五銭を下落してゐるが。これ例れも月末は月初のに比し四四十銭。大尺布二個八銭で

初めて建設列車が全線を走り

京野北野はもごより。

ためで、麥粉は一等四九磅人は冬物の一巡による需要減の

膚的提携の第一歩を

なは一個を果れば

三元、七九〇-七八四周 三元、九八一、〇七一 三元、九八一、〇七一

借貸買賣

る孤立を断行した歴史的な月

被六頭六十五錢。鄉布軍

一圓七十三號。彼塔十六年二圓 のもある綿糸布は燃より双離のたる

付けられたやうで、自然と暖が下。 ・ 一は、一般となく選いがに関し

さんがどうでせう。お交さんが死したいものですね。 母脈に、お交さんがそうでせる。 母脈に、お交さ

洋帳簿 各籍製本專門 三管堂製本所 三管堂製本所

龍病血壓降下法

龍原が院

廣告の

御用

は

久郷の言葉のはしんくに、 殿山

間の人なんて、

も言つてしまひます。見さん、世

金田一般

國の經濟建體強化、日本の他の余額なきに至らしめ、議州

外交も効なく四十二對一で、松岡代表の人間

米央 三州八五 倫敦銀塊十八片二分 1 一十六州八五

に聊 智 脫 退を通音し名響きの二倍きなり、石材。洋灰のの一倍きなり、石材。洋灰のの前端さして喜ばれた、然しの前端さして喜ばれた、然し

洲時間午機五時四十九分)に 住四日午前十時四十九分(瀬 を葉さして騒がれた。そして を乗さして騒がれた。そして

ナ

ル相場は

は相變らず多く、材木は簡年狀態であつた、然し建築材料

八十銭の五・座り等で、援分銭で前月間様。四分板坪一面物一才七銭五風、四間物十一

十四銭の四銭騰で、白松二間銭四厘で四分板は一坪一関九 同樣十二國三厘、四期物十三

金田東 馬楊蘭鄉 大船町1011三 光船町101三 光船町101三 光船町101三

**ろこざさなり。今年最初の大八萬下ン製造を目標に生まれ** 

ルーズベルト大統領は、三日 集出、死績、イア、マークを 輸出、死績、イア、マークを 輸出、死績、イア、マークを

年の五割増の九百四十底さな は、約定時の北端小夢不作説 は、約定時の北端小夢不作説 で量が非常に多かつたが、夢粉

二十五百萬圓の資本で將來十二十五百萬圓の資本で將來十二日滿洲化墨工

ルーズベルト大統領は、三日取引所が休止したため、五日

極洲國財界の一年

B

例年より遅れてもるので、相宗府正曾観別調査の十一月

會鐵所調查

ではないないのもりです。 別さんは長いでもない人なんです。 別さんは長がから、 然様でせるない人なんです。 間にをしてくださいといつで難な般が無いてもないといって難な般が無いしてくださいといって難な般が無いしてくださいといって難な般が無いしてくださいといって難な般が無いしてくださいといって難な般が無いして、ださいといって難な般が無いして、なりさんが、おりまれてもないというで難なんが、おりになっている。

お聞きんは、歌々のための、たつせやうとするんでせう」

せやうとするんでせら

柳希望の方は電話三七三二番 (資家) 店舗 一戸町京百貨

夏室 祥家家具食堂見呂 電四九〇六番~

おれを言はれるのが、便よりも使は、

宿館電板三八

場は前月を變ら中

一十七十二日初

ではせると。お父さんは、兄っとんを安へ呼び寄せて、政めて、 はななな、おがさんは、兄っと

のだった。

他しも、思はす難をうるませる

急募

昭 和 能 內 能 內 能

満洲國産業の

和

年

0

n

顧

(品)

から前配の保殿を得る事をは登せし食ちに組合の設立池橋

(四十二)

あるんだ。それがお互を不満にさせて

上華土族

(荒川 芳三郎

一月末の

9

宜厄

木) 日志月世

中谷時討店

生命線

を

三 行 一同金元十級 被係度 一同金元十級 被係度 一同金元十級 十 行 一同金一関五十銭 十 行 一同金十八五十銭

日日県内

銀器

國家統制案成る

重要經濟的實頭以國家的 南國全体の利益を基調さ

行はしむ **製質叉は特殊會社をして** ・ 関防叉は条套的事業は 以外は民間の自由経

州國経濟にカ張い一石を投じ分配常の決算案が決定して流

一二二月 斯くて三月 に入るや建 とい支統停止の銀行が一隔四日年を迎へて会々飛機期 に入るべき管であつたが、F トハ州に及び帰邦銀行は一齊 に休業し、シカゴモの娘の七 **以果を示めすこっが英政府** も日本で輸出統制をなしそ

分配常の決算案が決定して満一期成績收入六百六十九萬五千一間。 始和三十六萬三千圓。六一明成績收入六百六十五萬五千 智裳部では以上の大綱を基礎建設が行はれ間東軍特務部、 助長。私評請の改善を行ふ 農業開墾を行ひ、 金融整備、 商業の

交通機構を売買し、 口

ン ドンで

日本商組合を造る

結局英國に関する限り英國に るき意見一致した

を日本で輸出統制をなしその 数について協議したがに何れ をの商品に對する輸入階級動 を集め日本の商品に對する輸入階級動 高を以て組合を組織し、日本 内地側の聯合會員さ相呼應し 起合及び日本側組合の會員に 担合及び日本側組合の會員に で至った。只これが實行手段 につき協議を進めたが斯くの の保證を與へるには、これが の保證を與へるには、これが の保證を與へるには、これが の保證を與へるには、これが 於ける日本品の主要なる輸入

を行ひ、 門戶を開放し、機會均等 亞經濟の融合、合理化 日職相互依存を行

間

四百七十九トン、綿系布は前骨は指の県藤的約に高が到價階推捌の県藤的約に品が到價階推捌の県藤的約に品が到 及は新泉上め貨物。殊に代表 原因さなつでゐる、然し北行 原因さなつでゐる、然し北行

でいる所行大豆は割月より の原親材料が加重したため不 の原親材料が加重したため不

11元、七六八、六五九

で本年最初の人超月で、絵出に終ては大豆五百三十四萬三 年間。豆粕二百三十五萬四千四 を減じ、絵入に終ては麥粉が九十萬二千圓を増加してる

高のためである。及砂糖は日本中十九圓四十銭で、ゼー印を中十九圓四十銭で、ゼー印を除いては三十銭下落してるるをいては三十銭下落してるる。 アッチ は特等米二十二 圓六十七 日米は特等米二十二 圓六十七 日米は特等米二十二 国、三等米

ので、出過多きためであるこれは搬出馬車が、建工事の減れは搬出馬車が、建工事の減れは搬出馬車が、建工事の減 黑省施政

「本工児さん。児さんが若し、氏

大綱三年計畫書

所以之亂也線洲實行仁政欲泰 下繞為光行政以務名為患旅 中 医者不足以語此君夫標窃列國 之創不求甚解而獨好之此中國 ルデー型数の美本、省長陽雲の関字、東治、市政、財政等、保甲、村制等十篇に且る 製、保甲、村制等十篇に且る 製、保甲、村制等十篇に且る

階氏の名により絶兌 家一家のために、その幸殿を考へ に、これです。兄さんが、相談さしてくれ ないのです。兄さんが、相談さしてくれ ないのです。兄さんが、相談さへ して下すつたら、それが、一家の して下すったら、それが、一家の して下すったら、それが、一家の とない。なりまんの遺患 のて ― 製だつて、どんなに態しいかも知れやしない― 製はこん なに戦態に、家のことや、兄さんなに能しない― まさんない。それだ 安心して歌笑まれるでせう。お父んは、それこそ、初めて地下で

三菱是崎遺帽所ご契約した 大阪商船では四五〇〇項の優 秀船(十八ノットデイゼル機 のでは四五〇の項の優 大阪商船では四五〇の項の優 大阪商船では四五〇の項の優 大阪商船では四五〇の項の優 優秀船七隻建造 料で源を搬ひながら、久偏は場があってします。 要の間から、きれんと言った。 ではが見いつて――なあに、そいなことは、ありやしないよ。 要がなんだ。 政鉱に家の散

大阪商船

考へてゐるんだ」 途や、おまへの応服になることを てそれだつたら、なぜにさんは、

と思さんとは、おいさんが製ってして脱揚ってくれないのです。既

が長いんです」 を育ひたさうにしてるたちのでもやはり、整様の下からその戦がするのであった。 が、デット此がを見つめてゐるや な無がするのであった。 他もしなかった自分のであった。 他もしなかった自分のであった。 でもやはり、整様の下からその戦がするのであった。 が、ボット此がを見つめてゐるや なが、ボット此がを見つめてゐるや なが、ボット此がを見つめてゐるや なが、ボットのであった。 でもなく、わかり場るるほど時に



歴 「成都しようとしてゐるんです。↓ かつてしまつて、忠さんの能職を職に 反すやうに、お炊さんの能職を職 腹が立つてならない。













▽出前迅速△ 開店いたしました 根前は内地より招聘し必ず皆様の御期待に添ふべく努力板前は内地より招聘し必ず皆様の御期待に添ふべく努力をして居ります。 ◇開 店御披 露 (本天 等油店6件) 三笠町刈下目二六 本日より

務 張 開

新築落成移轉

花外蕨小內 柳病 兒 科科科科 往 入 龄 院 (井診牧します) 隨 意

△公公 主 堂 前マ

新京室町二丁目二二 婆

ボッチャン 美でない あ供

福田支店

大價特柑密 静和歌 本場密相新見書 場密柑新豆 直賣

價 提

一概(小箱四個)平均1110個より 1194品 同 119八十銭 119八十号 119

台及和

製造

當

にて

靴町五丁目 店 卸

飯村

施店小寶部

飯村

東四段通り八

的

三福家具店 の月の 锡

元

方式

**派質品安**曹

博多屋 祝斯宁自华四 連大店本

作製し直接

(=)

外交國難打

開

外務省

霞ケ關從來の慣例を破つて

廣田

外相の決意

単門登立案 アジ

アジア関係の外交挙

配録で史料を調整

副食事務・国費部の総務。一般

介氏任用に内定し、調査部のはニューローク機関単堀田謙

より事務開始させる可く本年庚田外相は開査部を来年一月

を事務的に行ふものである。

**東實、外交資料整備** 

日本

朝野を

獨立性强化並に建設を支援

[東京十四日発國通] 廣田 一鑑み一般性につ 川淵大使

世外相より鷹機首相に報告。 一世の語朝を待つて一應形式 大使の語朝を待つて一應形式 大使の語朝を待つて一應形式 大使の語朝を待つて一應形式 大使の語朝を待つて一應形式 大使の語朝を待つて一應形式 たが、今回愈よ現オランダ町でも開めみならず軍部方向 なる外交事常時を到底切抜 なる外交事常時を到底切抜 なる外交事常時を到底切抜 なる外交事常時を到底切抜 適せる者を根摺して任命し **一旦任命した以上は常該國** を一の清算して会使、彩事 級の中から夫々駐剳 に

西園寺公 風邪で綾熟

よの勝沼博士毎日件診しつて受は風邪のため競渉、名古屋

る事さならりで観られる。 内に米調政府へ齋藤切氏任命 水間を得れば大體玆一週間以

重光外務水官、其他關係官出展出外相、思崎法制局長官、 べ、意見を交換し寄育部を改説明し、各委員より希望を述 五年の 危機を 目前にし政 府 金子委員長より一カニ

の外交根本方針を関すさころの外交根本方針を買すさころ て隣州國側は黒龍江の航路標(ハルビン十三日登蔵通)豫

日、滿、蘇關係

商人スパイ・アイテガーフ外 に赴いた客 「サラのル十三日養養領」名 四名に金六百風を支拾し北浦 では、北平 に派遣するこさもなつたが、 の名に金六百風を支拾し北浦 ち撃獲に議洲國沿岸に航路標 では去る十日附で、當即のソ 方を拒絶した。よつて傑洲國外交部員に耐し、査證優リ のため現地に向ふべき資洲 開催すべく。ソ聯制さ交渉中識設定のため磯ソ水路會議を のさころ。今回ソ明では右 國側さしては明春解氷期を待 方を正式に通告したが。講所 期總領事に封し、右曹輔中止 党中であるから出席する必要 の大が、文相は女部省でも研 が上程されるので関係散せ が上程されるので関係散せ が上程されるので関係散せ の大が、文相は女部省でも研 の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部省でも の大が、文相は女部名でも の大が、 のたが、 のなが、 のたが、 のなが、 無しさ拒絶した。右は鳩山女 相が高初から内政會議を形式 相が高初から内政會議を形式 出席を拒絕

平川麓、蘇路大参野由像門園に赴いた筈 を集を延期し之に依の一般會 計組換へをなして一千萬國を が出するここは可能ご動られ である 間の成否の決するさころは時の成否の決するさころは時 會計に着目 鐵道省特別 一、南洋開催會社の小作料を一割下けよれの今回の上京の目的は拓洒省給め妹係各方面に動しれ、其際同人は語る。 大阪 一、南洋開催會社の小作料を一割下けよ 南洋長官には

現役軍人を以て

せよ

の他防禦的武器を整備する

ス模案で一致せし

常備軍に偵禁用飛行機を

拓務省へ陳情に代表上京

パン島の農民代表沖縄縣人湧上

**・ ヴェンナイユ係的により** を期間に軍備縮少を實行し を期間に軍備縮少を實行し ではまた。ドイフは常然率

◆ 大野大佐(朝鮮軍参謀)十三 ◆ 市川緑理部長(清極)同上 ◆ 企本 は書(同上)同上 ◆ 合部) 同上事 天へ ・ 会部) 同上事 天へ ・ 会部) 同上事 天へ

冏

軍縮對策準備委員會

新設計畫さる

意をなした理由は次のねくであが、 廣田外州が新の如き央

**右の加き外務省人事異動は霞** 

内偵のため

何應欽が露人スパイを派遣

近におし、デイツの再軍備要 ドラー氏及び外相ノイラート トラー氏及び外相ノイラート

さの事である

萬に制限されて居るドイフ・ヴェルティユ會副以來十

常僧軍を三十萬に増加する

常備軍の理役期間の一ヶ

▲人見大佐(多異第○○總長) 十三日午後三時七五分者京 中前六号三十分發吉林へ 年前六号三十分發吉林へ 年前六号三十分發吉林へ 年前六号三十分發吉林へ 十三日午後三時七五分者京 日午前八号三十分發吉林へ 日午前八号三十分發哈市へ 本号以氏(奉天)聯總領事 前員)十三百年後三十分發哈市へ 本号以氏(奉天)聯總領事 前員)十三百年後四 日午前八号三十分發哈市へ 本号以氏(奉天)聯總領事 前員)十三百年後四 日午前八号三十分發哈市へ 本号以氏(奉天)聯總領事 前員)十三百年後四 日午前八号三十分發哈市へ 本号以氏(奉天)聯總領事 前員)十三百年後四 号三十分發哈市から同日午後四 時三十分發奉天へ

行すること

點さなし得ざる旨を確當した求を佛羅軍縮豫備交渉の出發

事往

來

駐獨佛大使ヒツトラーに確言

しは同意し難

スイス公使後任には現日印交村陽太郎氏を租吊する悟。又

がわれば紀氏を随任せしむ が。同氏が再び赴任する窓松平駐英大使は明春阿朝す

若し勇遇を申出づれば杉

百九

脳質を待ち得ざるものあるた

相問題に専門家たろ一等情記の。外務省は目で歸明中の事

山形清氏を主任さして利用

控へ速かに背管確立の必要にゐるが右軍縮會請を一年後に

春早々活動するこさしなつた

に力を用ひ配出者を四省に分割 (場州十三日登録通) 福建人 (場州十三日登録通) 福建人

の移動を行ひな二。第七の附等遺廟使師の交渉決烈を宣親を遺廟使師の交渉決烈を宣親

皆である、これに對し糊態

一一一 日 横濱崎着大便は十四日午後五日横濱崎着

に退職、後任に日本土木建築路 網第一明計 養完了を機会

住以本心血を注いだ全領領

そもれるこさになっ

は明治三十二年

節は京隣線により浦口に到

ラ駐支英公使赴任

き軍権會議に萬遠漏なきを貼ては一九三五年に陪儺さるべては一九三五年に陪儺さるべ

スーダン駐在の最高金櫃さし な歓送程に木日午後三時下のスーダン駐在の最高金櫃さし な歓送程に木日午後三時下の

米洲局第三課でして活躍

校置を計画し、明年序録第にしている。

上、既に開始の承認を終て

内情調査の為

于學忠、腹心の鮮人

一、関海省(紹州)一、泉海省(泉州)

左の地に投資するに決した

に増援するもので観られる。氏の第五十七回も一部同方面

き防備をなして唇ない默想で

満鐵改組現地案に

等の兩件開發施政上の陳情のためである

南洋長官を陸艦軍現役解校より選抜せよ

八名を入満せしむ

陸路北手線により央々入瀬七

一月一日さなる模様である

現在中央軍の製幅建配備は選出者中央軍の統制に電るため近く が及び悪兵隊の一部兵力一萬 部及び悪兵隊の一部兵力一萬 五千がある又純九師蔣州安氏 立千がある又純九師蔣州安氏

李粉に対する絵入税を課する「中京十三日の園地」南京映「中京十三日の園地」南京映

藤根國道局長勇退

後任は直木博・

安岛引

★大連 八章 八章

光順 園

四寫

八真

t

御利用願いま

台向

上海向

米麥輸入税賦課

軍中兴命では像へられる改組一次定の蒲暲改組案に對し、陸

中央軍福建軍の

しめたさ

福建を

第四回寄舗委員督を開催した場合の新設に伴ふ官制改正案の事業委員督を開催した。 今後機會ある毎に優退せしである。從つて現任大使は離離を造らしむるの方針を 考査部の變身 平沼正副騎長 金子委 調査部の 副新が明待される い、釈進を以てこに代ふる

五名の課長を置き外交關係の同案によれば勅任邸長の下に後四時年散智した。 満リ水路會議

いより

ロ尺度檢定器

尺度嶮定器を確明した

原大尉二課に

**停へられてゐるが。人事與動面的大規動を即行するが如く** 

事を希望し各方面に充分に納

日午後七時三十分警安東か

先中當

滿洲國明春

一方的に實力行使 文相內政會議

所員が發明

で歸京

締結の交渉所給をする用窓に、沢隣諸國を不可侵係的

▲湾農柳作氏(總務廳長)十四 日午前七時首季天から 日午前七時首季天から 十四日午前八時二十分発哈 市へ 清水罐道部次長(浦標)同上 山崎縣務科長(※郡建設局) 同上 色資享平次氏(交等部橋務司 長)同上

自設定を承認する

さ區別するために観閲委員 領9存付させたいか6軍隊 トラー軍事協會は引

度量衡檢定

今夜(ハト)

間を来さぬ精密な世界に跨る。 随着の確定である 長量衡級定所員は十年者心の 「では十二日大連一治。十四日 度量衡級定所員は十年者心の「では十二日大連一治。十四日

獨逸の軍備擴張案

及のでパリでは嘲笑されて でものでパリでは嘲笑されて にものでパリでは嘲笑されて にものでパリでは嘲笑されて にものでパリでは嘲笑されて

海外經濟

二月限

銀塊及爲替

形清氏が任命される事さ内定は化使よさ決定し同課長には

調査部を設置の窓向であつた 調査部を設置の窓向であつた の代りまして

熱、光に變調せ

第四課 歐洲"南洋關係の外 変案件の調査立案 件の調査立案 政會議で政界の最多忙別だつ上京の時期が恰も世芽問題内 **着刘東で師任した。** 

き打合せ中だつた漢種機務に対し、直の常開せる重要問題につ 廳長は十四日午前七時新京

刻下の急務で、行政、司法方政の根本的整備を行ふこさは職別國籍立性の強化さ共に乃能に到ましたいさ考へる なる意思硫通を圖り積極的建なる意思硫通を圖り積極的建なる原解を得た。今

上になつてしまつた。此の間 野膝首相を始め政府編係要路 は他各方面さ種々打合せをな し、清洲國政府が せんさする

自分が時任後政府首脳部の全についても大體諒解を得た。

師その他財政。實築各勝方面に且つて多数人材を迎へるここについては特任後新任の古田總 務司長ご打合せの上詞司長が上京。司法省三の類にの古田總 快定をみる答で、また地方行政機関の充質を圖るため知事

人事は飽く迄慎重に 遠摩總務廳長歸任談

一長所 全島のて充治用させる」さいふのが、自然にこれを

に依り客脚的に高人が首背すらものでなく、適材適所主義は慎重を要し軽々しくれるべ

人のでなくてはならね「各

原則的にはこれを承認して居の撤駐及附屬地行政権の移情であらう、治外法権の移情の任用令。 体給令、退職賜堂尉を制定すべく調査が信がるが、治外法権の移情のであるが、治外法権の移情のである。

なすさころあった 執政形訪問、次で郵阀務場理 は平前十時 に選修職長は平前十時

たここは日本朝野を奉けて領地なので自分は観鬼して居ないが、

居ろこさで、との點 洲國の獨立性强化変に建設に

一非常一にな に力強く感

洲へ進出、安心して投資する。
は益々日禰揚機を堅くし、有 大阪三品

▲大奴朱式 大連株式 - 1200 - 1 同短期 高温される

である。北磯田頼が停振試験り、此の解決は唯時期の問題 双方の意見に未だ用書の開き 打開する必要があるが。何分にあることは事實で、局面を 解決は今後の折衝に 第1回 ●阪神日米爲替 各地市 场

島證青 前 三部比天分前 三部ドラケー 一大連特産

ピスをする事に成りました何 就は左配方法により配念サー 愛願の賜さ厚く舞禮甲上ます 11 式 0

▲上海日本 七八五

上五日空より無料券

卒御利用の程を! 弊社は滿洲航空株 布します 五日飛行機より數萬 倉社の後援に より十 同ピラ中には赤い 枚の宣傳ビ ラを撒 ます 額券有效期間乗る一月 赤印無料券 青印は半 が多数混入してあ の弊社捺印あるも 右 優

の盛業を得ましたるは皆様御

月限 ★ 横濱生糸 100 平 光園社寫眞場!! △創立以来既に一年を関し今日 증증

豆米 차막루스 등등숲효 **北天大四四条本市市市** 

**老美天** 1001 東豆産豆現現 新京市况 动

四三二一三現 月月月月 限限限限機 **三九五五元**元

多 たち 智 岩

一 一 上 長 展 及 出二一三块 來月月月 高限 央限物 二一三現月月月日 四三二 月月月 限限限 1174 五五 怕 油 1140 흥 三世美 老美

四三 立 現 月月月 限限限物

昨夜時を同じく

=

脱獄か

ら自首迄

一窃取一

日を盗み監

地人の警官が立哨してゐるの

に出、續いて西か東か判らゆ

は高粱飯を吳れた後十銭を貰飯を喰はせごりながすご請人

組し脳や傾利用者の便宜を闘・特別を対している。一般のでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

年始の休館をなす。次に十一來月が日までは例年頃り年末

中の右脳背館利用者散を見

名。首都教家の名に恥ぢぬ飲 館の三千八百三十五名。第三 位が伏兄台の三千七百四十六

繁六三

〇〇縁満明絵除兵で同乗して 十一時三十分競列車で〇兵軍

館內副書關號者五千八百名

昌振である

あす各部隊來京

満期兵も故國へ凱旋

の遺骨は十三日甲輪九時酸別の遺骨は十三日甲輪九時酸別の遺骨は十三日甲輪九時間内で殉

遺骨還る

111+4000

二十六日限ので二十七日から

の闘術館さ比較すれば十月

する機嫌。なほ同館では来るると、役し祭日の翌日は休館

八白十名であつた。沿線各地で四千七日五十七名の激増を示してゐる。即ち前月は五千七名の激増を

から自分は朝日通に出るまれ

を焚き夜を明し支那人の節落人に煙草さ燐すを貰ひ高架製

に辿りつき支那些が判らんが

首した方が良いさ考へ帰つて

還る

や同所で四半はばらくに別

に出てゐるか判ら中階近で讀が横に折れて行く內軽便鐵道

出来ず地理が判らないので崩れないし、又自分は支部語が

たがそとで足袋一足を買ひ火

に引掛けるか6

れから日曜、祭日も

圖書館開

全満で利用者

は新京が第一

ころ。ことはもうこ、二日中

歩んでめる内保行場に出たが

あろが、未だ犯人が**縛につか** 

にドライブするものかし、「窓

西条閩附近で客待をしてゐるじくして客馬車夫趙魁五岳が を暗奪逃走した急報に接し首

水不足のため 未だ實現せぬ

各學校のスケート

いよく、スタートを一つに、大つたので増力事務所社會係なび新京高女の三校を放課後を対し、西廣場層小學校等なび新京高女の三校を放課後の記憶がある。 段取は出來てゐるが汗腎の水 ぜひ何とかすると當局語る 田水道係主任は簡る される見込だが右について松れが實現さるれば直ちに實権 るこさになつてるるので こ 冬期唯一のスポーフが出来 でないためまだ度行までに でないためまだ度行までに

間十日は實現されそうにもな してみら、 九も近く 関係性段 してみら、 九も近く 関係性段 い積りでいづれ近くこれ以いても一日も早く変行した ないやうでは見査達のため 一般市氏に 

余融

が相関らず

金)

館が一番に逃走し細いて山崎 体体になり衣類を外に出し三

終り廣野を貫く坦々たる領道のた吉林國道は途中11515 橋原町を貫く坦々たる領道の 大時城内西三貫街双橋不街二十三日夜さきを同じくして首都警察廳管内三個所に象銃短弦が現はれた……十三日午後

は過過をドライブする自動 一家人一を脅迫し前 観王周元方へ祭徒慢盗が

一捜査中で

一頭を簡奪逃走した目下十銭。支那衣類一巻、支 迫し現金七 を突付け

村最近某有力映賞會社はよき 「一本につき一千国の保証 をんさして漢洲誠の利益を護順 をんさして漢洲誠の利益を護順 判別したので議門國常局では 築者を牽翻せんさした事實が 祭者を牽翻せんさした事實が

頃城内三道街馬車夫趙奎武氏 撃逃走した、額いて午後七時 追した末馬具をはずし馬を騒症に条続を取出し馬車夫を脅 さ頭に行けさ命じたもめ命に ・ 一韓で陳東宮舎まで行くこさ ・ 本約し官舎に行くさ答はもつ を離れたさころに発怒るや二 從つて行くさば舎から五 人の客は掲車から飛び降り矢 では悪二世のために少し位我 は第二世のために少し位我 満洲國を 出來るはずである

繞つて 某映講會社

のインチキ 

同二年前三時五十五分階

一、同日午前六時四十分裔。 ○○縁○○○名來京、尚九 時三十分○○○ 「同日午前十一時三十分○ ○○縁○○○名(蜀功兵)南行

來年の互體會

殺到の見込み

甲込は早くなさい

戦没將士の

で客を装つた蒲人男二名がが八島地で朝日通交叉點附近

カ面に利用し廣く民業の教育をお面に利用し廣く民業の教育を表しての方針で映画 明春の陸軍 始觀兵式

月八日の確率給収兵式は宮中 製の額係から糾取止めご健殺 (東京十三日被巡話) 明春一 宮中喪で御収止

第〇〇陽城没將士六十五体

着京

下軍部組織は軍司令部副官部になつた事は託和の通りで目

へ、南中川は名画長へ、各

あす午後五時

○除了C〇名來京。同九特 ○ ○除了C〇名來京。同九特 〇〇編〇〇〇名。〇〇線〇 にをするが、市氏はこの寒臓 を対車で内地に向け帯しまり到 が京の潜列車で恰似質より到 で油を十六日午間九時三十分 で油を十六日午間九時三十分

今年は例年以上に殺

に、女は生き残つた、その時 の一人息手を情死をはかり服 の一人息手を情死をはかり服 の一人息手を情死をはかり服

満鐵々道部で 官条衙會社幅保は地方事務所

原至絵申込まれたいさのこさ 女給笑子の 6差迫つたこさして此 機に申受けるこさにな

旅客列車運轉時刻改正

大連、新京間停車場は奉天だけ

村三日午後八時ごろ大和週り ・ 大東洋女給那屋で女給笑子 ・ (元晴鶴紋笑子)ここ長崎縣生 ・ してゐるを家人が發見端報告 ・ してゐるを家人が發見端報告

桐十様ごろ外出先からの

地の変化の親嶽を陳情中であ過穀日賴用雲島に動し日本内

狂言自殺?

へられるが、笑子はカルモの下し男は肺を患つて衰弱して

ンだけしか願んでるなかつた

**黒龍江省訪日** 

文化視察團

愈よ渡日

はカルモテンさ猫イラズを

回

エー春が十日から頼々し

さ意さに依り作つた罪を佛前行するこれは一年中の身で口 時からを同七時からの二回経悔者) の法要を十五日午後一 市内曙町浄土宗長春寺では同 添一年最終の行事佛名會(懺 長春寺の佛名會 恰はいづれるプロン富士でく前白い組織で、同家の

寒さど飢んにふるにつく

に自首

-

他の三名は尚不

市内永豐町一丁目六番昭カフ で一般の姦脂を希むさ き新年を迎へやうさする行事に懺悔し読得さなつて来るべ カフエー春開業

すが使用して**呉れ**ご頼んださ をこで内地人に自分は大工で

部を出て足にまかせて

たさころ次の趣多院獄経路をかくすさころなく自白し犯かした。罪に今更ながら悔ひ沙き七時ごろ是へながら頻京機慎事館刑師所の院獄犯人傷害致先武機平人(三三)が十四日午市民を戦慄せしめた新京機慎事館刑師所の院獄犯人傷害致先武機平人(三三)が十四日午

▲日本橋通☆泰坪け店員森本 東本か菱、は十二日午後七 東本か菱、は十二日午後七 東本か菱、は十二日午後七 ろ而養屯で赤皮製財布を

費で開棄したので市民には名であつた連中八名が共同 に大入議員の盛况である 所國書類若干を置き忘れた

2 翌午前八時までの間に驛構二貫時慣十二圓亜鉛板時慣 ▲老松町十一番地の一島川組 香林香店氏所有の自穂車一 門工事場で窃取された 律郎氏所有の三十針十

時起出有女女 △大和疆十番地池田清氏十三日午後五時州分ごの大詞自 し下車の際紙ハサミ在中 一圏十銭を拾つた 0

程振和君は同家で外套一者

認幣十周を十三日午後大時

▲城内大馬路都編會相垣宇太 川井舟ごろ満人が来たり人 川橋二匹時信三十圓を窃収 された

車で無里新潟県に向け速送された

新京緑貴質量に安置され戦友・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京泰嶺上等兵。同伊藤六之・北京 高東生軍隊の 出迎へ出來及 出迎へ出來及 出迎へ出來及 管を決めてゐる、考費さへす 合せて全校生徒が出迎へる手 遺骨判着の際だけは何ミか様 には出されないこの事、尤もく努めて来た戦隊の送迎なご 十五日に来京する戦役路士の

て奉仕するさの事である

有志の焼香を得て、同日午前

でより、十四日で第二十周年正二年十二月十四日記立され を迎へるのでい十四日午後一

僧し士氣を鼓舞する悟であ 念祝賀式を集行したが。十七時から同地岳附民會模上で紀

京都帝大の火事

容目下手電中であるが生命に て午後零時四十分韻火した明 近には冗断タンクあり。

化を計畫

域に、強為に続ける共産家勢 域要額及び輻丝鋼を開組を楔 調養産業機構省型負貨は、北 ありさ、右の情報により日實を謳る可く著々策励しつ 員の赤化工作、細胞機構の 南蒲沿線に派遣し、頑人從 又一方有力なる本部指導委員 溯人より成る共産監員を断 に派遣し各地に支部を設置 満大し、赤化計濫中で。已 力扶植の地下潜り運動を更 る料理 と対理 グリール 十二月十七日開業

泉小日丁二町東水京都

香几七九四長該革

油 由改動 貨店合

巴彥縣中鄉校以員 巴彥縣中鄉校以員 高高河縣局長 李美國河縣局長 李

贈收賄で

博士連續々 召喚さる

サロン

1

電話三八四六番

机町二丁目

門開業報三側士成熊年を風見の開業報三側士成熊年を開見を持ち、 を任意出頭さし取調中である 島から||名の博士を召喚する 一方、母崎黌大の教授三博士

終む贈牧贈事件である

壽堂において開催されらこさ。ここ判則真なに講臘醫院に收午便零時三十分西廣場小學校、パに混じて服し自殺を企てた來年一月元且の互禮替は常日、解途カルモテンを購び歸名ソ 火したが、消防除の活躍によ大郷工學部中央實験所より出大郷工學部中央實験所より出 の同質験所を全続したのみに

京署で取調べ中であらが。こ後難した事情があら模様で新 売子のこの自殺未遂には種々は別係なく狂言自殺をしい。 在八中國共產黨

F関度中である 地がた。 南原 改並に指

12.15 9 25 という Califold H. A. Kar 杨雪 SHE WAR 13.1 AND HE SHAPE 现在3周神雪上中每 李章 和 和 和 P. S. A. 一個 一川等公公园 一多 M B 場が、のまる。2256

なつ 書目一行の た、一行 日人が、ペッウ黨員

德丸市郎

▲日本積過八十五番地新京ビ

時ごの自宅員で切収された自時無社関を十一日午後大

逮捕さる

パー若時間自二十間を窃収九時ごの何者か使入しまし

齊藤靜弘氏方~十三日午後 人三階二十一號油葡貿易曲

告るッ陽グ、ペ、タは邦人を 作に北御狂ひの活動を傾けて 作に北御狂ひの活動を傾けて 第二

狗であつたが、其後消除が、 を頼け第三インター機節の走 のであったが、其後消除が、 消嫌にあつてソ朝が、べ、今九市郎(四九)は過去十五年 帯しつもある時。 顧岡 生れ間 も驚貧に引入れ滞行運動に狂

の行動は頗る注目されてゐるというなのでなり、遂に取闢べを受る所さなり、遂に取闢べを受る所さなり、遂に取闢べを受 **埠頭第工版街九四號に苦を構がう砂境を越へ常地に潜入し** 阿選せんさしたがなる中、ポペ、ウ除長更迭により日本に

右本月廿日竣工

一月

四四金半半

二間一戸風呂弘政権アリ

場所

八島通朝日通角裏

けよの銀相場

現大洋對金票 現大洋對金票

女給募集

来談あれ 不談あれ 本人直接

人気沸騰!! 定休日興廣告

定休十五日は歳末大賣出し に付無休に變更致します △日本#詰◇ 新京百貨店 電影三一六二四八七六

滿藏病院前

林 四公人 t -司

右本月廿五日竣工

御問合セ

住宅向貸家廣告

昭和八年十一月十四日 山本 新京中央通公園就

主任技師 哲

無之候右廣告候也 右之君今般節合ニ依り解雁仕候ニ付キ此後常館リハ瞬係

解 雇 廣

分相應な置り端をしてるため 間の者は間情して、覚起間上の

関一人デー人の三年と十松に、

てね、阿父さん美味しかつたよりの酸のがだの。爽べさせてくれ

「ハテ、それから何うした」 「家は何處で、お父さんの名はと

エ、無日、留守を有職う花じま

それは父三年の戦であった。恥

はオ、三年の子、お前のお祖父さ

は小殿三年だと言つたら、おののでお父さん

情能の女房は、手内職してゐた

一种配へ来るッて……此指をお好きんには含つた事もあるつて、それ

自

一般は、立つた他でそれをムシャ

動手が見もせぬのに、押願いた

ね、一緒に來いつて、問ふの機関

へ連れてつてくれてね、五子線だ

へ出ると、隣りの方を取いた。

たり、打つたりして

女房は紙にも包まないで、役た

『エック、変あの機鬼の箏が、……

十松は直ぐ立つて、裏の層れ続から、ちょいと裏から手をお出し

大説縁の子だの孫だのツて、箭め

品

示現軒

井上刀 劍

。店

日本トランス

品

新京蘇座和

電話三〇八二番

商店

附屬品、

軍裝用品、研、

白鞘

柄卷

日本刀

籍 官 而 四兆鐵路局即指定

通遼ホテル

食科品一切

二〇七三番

**新京蓮萊町警察的二丁** 

各ン

種ゴ

¥

女中數名入用

診療時間至午後八時日開祭日午後休診

ラニッ・双お取ひしたのか、小田一つ

と、折の際には一つの総合があ

オートバイ

電話二四二日

車

は

各種自轉車

で一年さんお歌りなさい、大戦時

マフーム.

三年は折を取上げて、概を解い

んに持つて除れつて美れたより

は

「楠三」とした旅院子が閉てられ になってゐる。 牛込着町の製長屋の三軒目に、 が金を対すことが出来るやう

和問

手習ひ草紙を。手ば等にかけて 職家の羅字屋の女房は、物質を 十松は作伸びして、其掛金を外 いて壁一重を其儘に躍かけた。 「坊や、そりや何だ」

二件作八

して、屋内に入った。

十松はニコ 「今日ね、神楽坂でお手習ひの様

たからなっもう少し待つてお在。モヤからなっもう少し待つてお在。モヤルから、早く贈ると言ひなすつた ア、小母さん。全職つたとい 折を見て、 郷り呟きつき、十松が大切さう て、狭い一室切りの我家へ上つた。 何うして、手前何處から持つて來 「ナ、ナ、ナニ雑郷、そんな物を てもんだよ」 『コレね、阿父さん、鰻の驚傷プ ア、ないれた、一日仕事を中日 に片附けるにやア、並一通りの事 父の既に一様の疑念が漂った。 ●七赤の人 七分の利ありて

事は一切金てざらがよろし 下は一切金でであがよろし 徹に等し啓請遺作移轉。凶八白の人、武策も功な(無

齒科

口

腔科

・※明治の菓子特約店※明治の菓子特約店※

利

醫

颇具醫學士安利剛

加東

こかは、大きな木紙を土間へ投げまんがも渡みませんねえ」 ●一宮の人 新事前小して兄 ・一宮の人 新事前小して兄 こさ申こ丑が吉 こさ申こ丑が吉

●二碧の人 協力一致は過失甲。乙さ辛が吉 萬金の策を贈じ設選を喋れ 費を省くにかめるしてが吉 幸運に安んぜす

●六白の人 沈勇好く大事を を侵して水を沸みが叩き日 渡るに積なく除 

三分の損あり病厄盗蘇注意

元 平 先 乙 令 留 醫 卯 曜

日八世月十萬日五十月二十

ばいかる丸 うらる 丸亜米利加丸 十二月廿日 十二月芸日

新京日日新聞社 管 業 部

食料品と

配達は飛行式 日華洋行 内 電話三三四三番 は 加力。

嬉野でし 感

相談致します 是非御試しを

三笠町三丁目

#IIIOIII条

發揮する

加

タンゴド

ラ

ン獨特のお化粧法

御宴會 サービス… シーズンが参りました!! 0) 滅點の

<del>-</del>

P

御愛用下さい。 たますから、いつまでもまったますから、いつまでもま

者々しく

Ö

□…「風鳥コールドクリーム」にて白粉を拭き去り、其の上に「風鳥」の色音をお撰びの上、眉毛を作り上げい、如何なるお化粧をなさいましても、夜る寢る前には衛生上がの御期待に副ふ、得も云はれぬ美しいお化粧が出來上りますが、かからなり、またでは、思ひのまゝ、皆様をおりに「風鳥ロ紅」にて御仕上げになれば、思ひのまゝ、皆様をおり、大きないる。
「風鳥コールドクリーム」にて白粉を拭き去り、其のよう。

粉れらせ統合する分歧美的學科 羅便香芳 鉛無良純 す汚を直轄や限次でし散焼が粉 くな駄無き如の粉白 すま楽出が粧化おいし美に軽手くなもひ憂

> 色 白 い お 方には………… 色 合 い お 方には………… 色 香 い お 方には………… 色 香 らい お 方には………… 色 香 らい お 方には………… 早淡白肌 紅 朗鮮健陽色色色

タンゴドーラントを顔の色に贈じ

く美しくるられます。精やくまり、夜る寝る前には衛生上も、夜る寝る前には衛生上も、夜の上に「風を拭き去り、其の上に「風を拭き去り、其の上に「風を拭き去り、其の上に「風

尤 東 (番九五一五三版大替版) 會商助之達野字 慧 三町寺費久甫區東市阪大

・す場を美粧化的代近・ 料粧化鳥風 風鳥 チーゼル を乗防する新化 と乗防する新化 展島コールマッサージ用 水物ビ

□…吹雪、雪、氷の寒い冬が参りました。此際皆様方のお肌のお手で、なく洗顔を避けて「風鳥コールドクリーム」にてお顔の脂肪をですった。な質の部分へに、ならす様に擦り込んで頂きますと生肌した。お顔の部分へに、ならす様に擦り込んで頂きますと生肌が売れるの儘の個性美を一層麗しく發揮致します。

**支**那中部

の赤化

ますり

・醸成さる

四川、康西の共匪勢力を増加

政府の惱み加はる

楚洋飛店 室 書三七六四番

なご願ら往目されてめる 年末金融界平 穩を見越し

三日には日歩七厘の米穀證券 の百萬圓さ四分利公債千萬圓 を管渡された。 右は栗年も今 を管渡された。 右は栗年も今 米券や公債買人れ申込多く十金融市場平穏を見越し日銀に 買入申込

立登記のため 大同セメント セメ ント設

應募州倍の

で岩林に向る豫定である

さうさり地方費を支出さ

配手額のため同社員見玉國雄 ち大同セメント會社の設立登 を対力をはから、 を対力を対して、 を対力を対して、 を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがし、 をがし、 をがし、 をがして、 をがして、 をがして、 氏は十三日「16る丸」で來源 (大連十三日發國通)

いなりませう。 食い ま城す。 百角圓全翻拂込續になつて居大同セメントは資本金國幣三 したが船中で語る ませう。會社の設立準で操業は明年の解氷期

の四十軒。豆腐商の四十軒。 の四十軒。豆腐商の四十軒。 の四十軒を始め、鑑天難貨商 の九十軒を始め、鑑天難貨商 の九十軒を始め、鑑天難貨商 明館の九軒等で、 胆賊の果の 明館の九軒等で、 胆賊の果の はく 多へられてるた同地も王 には 製業してるるものさ見られてるる

日五十月二十年八昭

に続するに奉つた、全四川省に続するに奉つた、全四川省

**承益々其勢力を増加して各地四川省に於ける共産開職は近** 

化する場合、北部新疆省から 南部は康西に亘つて常然赤化 するものを取られるが、更に 福建の独立にはソヴィエート 分子の勢力が多数入り込んで 居る事は明瞭であるから、こ れに依々支部中部の赤化する

ろ筋に適した情報に依れば。 〔東京十四日麓嗣論〕 醯胃な

支那學生間に 日本語熟盛

本簡単役はその経営の良否を いものは殆んご舞い程で。 日 語習単無旺んきなり、各大學 に日本語讓座を開始してるな いものは殆んご舞い程で。 日 の田選子牛 満良々 日本へ 日本へ 即はず鍋目の盛況で、日支停 戦協定後今日まで四百餘名に なり、名大學 派遣するなき今忘に無い盛況 である。但し之を11て親日氣 である。但し之を11て親日氣 である。但し之を11て親日氣 である。但し之を11て親日氣 である。但し之を11て親日氣 である。但し之を11で親日氣

滿

鐵改組現地案內容

な

日まで進山しなかつたので、 ・の他内 ・ので、これて来たもので、その他内

新京の二委員は目下詮衡中松糧業組合長の諸氏

办

**養を修正して、ホールデイン** 管本を釣り出す一カ舊資本主

總裁

飛機で上京

滿鐵正副

ユーによる金融及び

種々な意味で理想的なもの

る際のために間帆が廻らぬ様

一保證一つどので、

一 公儿川 を行りる危險からも脱却し を遂行する危險からも脱却がなく株主 さ 計慎による事業資金で事業 さ 計慎による事業資金で事業

なつた

周示子飛行場發東上する事では、大連十四日砂國通り端載に西脇杉本所秘密を同即を記している株主のため、十九日朝のため、十九日朝のでは、大連十四日砂國通り端域正

米券公債の

**するこささして方針を** 細な具体挙は中央に於

財局地からの歳人三百萬個に は難したいがそれをおいそれ で引受けるには、強計画の現 下の財政状態さして出来す、 時島地の経營に對すら何等か の新方法が最見されるまでは 現行の方法を踏襲する外途な

及附帶事業は今日まで舊年間 一の講破を通じて附属地の産業を開發するより に途がなかつたが、今日では既にそのかつたが、今日では既にそのがななのでは既にそのがない。

は種々な意味に於て理想的な は種々な意味に於て理想的な なりき云ふべく、備の場の豪業 なりき云ふべきである

調電新泉支店では歳末▼ー

女事務員募集

満電支店で

なる援助を希望してゐるさて居るので日滿層處民の熱誠

のるもしく。 殊に用者 の本ものさ

移されるこささなったの最終協議で決定し、

祖案は、理地案さして

たが、 中央に たが、 対 でを示す程 でを示す程

者心したのは地方部の程立さ 野に雨者が一番 いので今度は此手續を濟ませし、政府の登記手續が濟んでるな。

連十三日發國通〕 日本の 見玉國雄氏來滿

日から全頭鮮銀各支店ではなった。即ち頭洲に於ける日本金球株は己に去る十一 手續したこりつい

は此の総くべき申込に對し責工具株の申込あり。會吐側で 先配置等の條件が附せられて は同等の特権が明與され殊に は同等の特権が明與され殊に 一部資本家にその

一利益」とがからま る態

三千萬圓內外で、この外に滿一千萬圓に適する見込である一千五百萬圓で、今後提出の追 保障生素質牧母の糸布公債一千五百萬圓と當を台計するさ九億 洲事件論功行賞の五千萬圓と ますから其の回収も概し ます。幸に本年は豊作で むくないこささ思ふので 8 居る良

かかる貸出ではありましたが遠して居ります。誠に手数の機関一千二百五十七の絵間 のでありますが、乙が叫も春村は、本行其の貸出しの衝に富つた本行其の貸出しの衝に富つた本行の場合の方法を掲し 耕好数さ解せらるろもので ても其の教授職に腐心せられ がであらうご豫想されて足がであらうご豫想で動しても前の商工業者に對しても前ののであります。 尚は北浦公のであります。 尚は北浦公のであります。 尚は北浦公 版資租合に對し、物産機会意味にて黒川江省特産 金例へは登口に於け 情の改革に依る市街教習 ります。此の外地方の特 て特別融資の方法を講じ 質の途を與へ及最近に終 通の

夜作業をなし、補助貨の供

に努力致して居る有様であっ

き嗣洙上補助貨の需要も相當

=

次に金融方面に於て通貨の銀行は其の倒立 高初よりの方銀行は其の倒立 高初よりの方銀行は其の倒立 高初よりの方銀行は其の倒立 高初よりの方機移に留意致しまして通貨の安定を関して居たのでありますが。幸にも開立以来通貨の安定し、物價の受動少くに破解の流過は極あて間滑でありますが。

一億四月英国に下り、現在競力を維持して医ります。現在 砂まして、準備は常に大割内 りまして、準備は常に大割内 外を維持して医ります。現在 砂底下して医りますのは主き して本年い関月がありまして 農産物の出細り一箇月以上も

で、其の回收割合は七割二分 大風に相當致しますが6、決定の 期加即ち明年六月末迄には無 がに補助貨でありますが6、決定の 次に補助貨でありますが6、決定の 次に補助貨でありますが6、決定の 大に補助貨でありますが。 大に補助貨でありますが。 大に補助貨でありますが。 大に補助貨でありますが。 本でます ででます ででます ででます。 「特法の定むる所により、本行 に於て其の製造量行を委ね6 に於て其の製造量行を委ね6 に於て其の製造量行を委ね6

も且つ各地方により芸だ不同 は従来金料が著しく語本であ

**検索の金利さ日本其の他の先** 統一さ低下に努め大体に於て

就て之を見るに、

更に本行營築方面の概况に

億四千二百萬四中、本年十一 り引機ぎました舊紙幣總計一 り引機ぎました舊紙幣總計一

百九千三

(B

滿洲國財界

過去一箇年の回顧ご

蒲洲中央銀行副總裁

ます。 瀟洒端は比較的民度低い高い。而して現在銀行品は自五十萬餘風に達し之等の補助貸は観り到る職歓迎されて居り

た所の各種貨幣全部の發行をし、之にて貨幣法に定められ

金)

中の特別會計新規入債一億三年の特別會計新規入債一億三年の特別會計新規入債一整會計七億八千五百萬圓、これに査定

围

の活動熾烈

新

日

「南京十三日発園通」腐敗官 東の模行に手を燒く南京政府 北先設正を計碼中であつたが この程大綱の成案を得た。之 に依るさ收賄官吏を一律に死 に依るさ收賄官吏を一律に死 に依るさ收賄官吏を一律に死

大繁昌

避難民移住で

明年度發行

公債の豫定額

結局十萬圓を超にん

煙筒山鎮

日

京

新

收賄官吏は

律に死刑に

南京政府の新刑法

乗級属司令部の名を以て上海事製以来初めての安氏都告を

本中七月金利の引下を行ひ、

本の動制を探りつじあり、ア を通過出来る朝鮮人を密偵さ 河口まで各山地及び高地に地 の要所に増雪を布段して

用は極軍定期災動の内命を昨(東京十四日酸戦争)荒木陸 陸軍異動

防備益々嚴重

では二萬に強し、各所駐屯 が取は二萬に強し、各所駐屯 がエシテエンスクに集結した が取は二萬に強し、各所駐屯 が取り、上容易に頭境 鮮人を放ち日軍の動靜を探る 動は大体次の如きものである はなつた、単なる進級並に異 はなった、単なる進級並に異 **陸軍科學研究例長** 少將 時樂 念棋本部の務部 陸軍重砲兵學校長

在極軍中將(各通) 少将 榜本虎之助 種物

任主計總監 競車幅重兵監部階 工兵大佐 松井 主情證 小班寺 最治弧

諸爾漢王府興安静祭局より某府の對日對策軟化に不満を抱 が、最近南京教化に不満を抱 並に獲東北軍閥失業官更は同 並に獲東北軍閥失業官更は同 ででして最近文治派の巨調 がべして最近文治派の巨調 手を通じ全隣各地に散在する 平紋國母長)は北平欧有智の キリスト教育さ明格をさり消 ブラゴエ附近の 攪亂を一 王德林、 出山、王徳林、唐聚五郡はソ ・古山、王徳林、唐聚五郡はソ ・京本・建設の緊張に乗じ吉黒邊境 ・京本・建設・中であつたが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 ・京本・建設・中であったが畝日 吉黒砂境機亂の貸出登した 留 五 命經軍省出代各種) 精里兵大佐 佐々木吉良 新六節順参謀長 航空兵大佐 投野

大豆混保檢查 决定 査定委員

網票軍 司令部附

正迪

工兵大佐

高星 晴彦

富吉。敦家店前田豐吉。 外國組合評議員。 四平街木村 繼續山田特產組合長。 標本 大気 さ気 温泉 温度の風晴れ一時参 

動材々 凱旋兵の

名は小野村・尉 輝の下に一名地に穂駅、武勘を樹てた新原門初歩兵県〇〇〇城の〇〇 押の下にし 驛頭盛んな見送り 四日午前十一時半多數官民の四日午前十一時半多數官民の

電々會社 待望裡に交付開始 なつた。女性司會社では事業 持國防擁護に合する議書心し 地条平なる分配を貸すこさに も嗣家将見地からして治安維 一方へは 一方今後さ 度を以て進み苦心險尉の結果 總株主一萬七千鵌名に對し適度を以て進み苦心險對の結果 吉黑邊境の 會社では此事業の繁榮は延い

トラストを形成し公案の利益ので居る、これを要するこさにな 窓を排ひ迅速、安全、確實をモ上さのサービスには馬全の注に重大なる關係を有する關係 フトーさして有能なプレー

(東京十四日發回通) 水野

水野鍊太郎氏 を拒絶

おからであるご戦られてゐる に就任を拒絕した。 偽拒絕理 に就任を拒絕した。 偽拒絕理 樞府顧問 は履艦書を携帶同店營業係へ 会募する明川は十二月十五日 よの同二十五のまで十日間で 日給金二側三十銭で成績によ り別に手當を支給する希望者

o。今回現職に挙轉したもの 省に歸り條約局等三課長さな 所さして大いに活躍し、後本 同時紀官は大蔵省より外務省 住の途につくこさになつた が大使館帯紀官に榮輔の佐藤 は代の途につくこさになった である

皆様!!

出發か

十四日午後六年二十分ごろ東 二級道ォフェー人形産前収柱 の馬駆器から発火したが何分 人通りの多い盛り切のこさも て野次馬連押しかけて大賑ひ であつた 電柱の火事 野次馬で大賑ひ ▽殊に衛生に留意し御期待に添ひます機勢で接続親切本位をモフトーさして優秀の技術教切本位をモフトーさして優秀の技術を表示を表示を表示して 力致します是非岬立衛の程を!! 曙町四丁目(曙湯雲)

陸軍教育總監部庶務課長

輜重兵大佐 加納寬造

松本理髮館支店

新京乘馬俱樂部會員募集 此際ごしし 入台し

今度常期に興馬俱樂部が生れました。

人事往來

・ ATRACTION 一時命五十関也を納入すれば関時騎殊に初心者には教官が親切丁等に教授致します -規約費及申込費は左宛假事務所にありまず即通知次第 人工 會 員 申込金十圓也曾費一ヶ月金五圓也餐 名譽會員 乗するを得

新京乘馬 事俱

御送附致します

お訳のお重詰盛物類 **巻勝手ながら除り押迫らね内に倒注文をお願ひ申** 大勉强●內容豊富●材料吟味 切

规则三丁目 月 電話二九七三番

慢性病療法科專門

桐原理化學研究所

般物理療法教授 新京日本橋通 \ 是 隆 銀 物理療法治療部 1中央公館横丁

年齢三十歳迄

書送附の事、締切十二月十八日迄、希望の方は新京局私書亟四號宛履歴 面談謝絕 締切十二月十八日迄

至急申出られたい き

.

佐藤書記官

廿七日東京發

中會與日 申込期日 官民合 込 所費所均 昭和九年一月元旦午後零時三十分 西濱湯小學校壽堂 新京地方事務所庶務條 編州國總務聽被菩應(蒲州禮關係) 智馬長(市中關係) 子二月二十日限 同 新年互禮會廣告

主 地

務事

京京 方總 所領

## 近頃火災頻々

原因は大抵煙突から 前例既に威海衛にあり

ろから出たのだ漏版だらうさい。多くは火の氣の無いごことがごろ瀬々さ起る火災の原 合でいろく

で置際に就ては何の検査も行 いまへすれば承認されるだけ で置際に就ては何の検がそれに適 のおうだが設計仕様がそれに適 やうだが設計仕様がそれに適 かったが設計仕様がそれに適

年 八 和 昭

= +

1 1

国の三種を決定した。この外 各家庭のお好みにより別品がある。 同値段は大体昨年で同のがあるがもし前記の値段以 上に請求するものがあつた場 なつた。 なほ三種のうち一般 家庭に注文されるものは二十

揚げ高を割き

敬収するから豊出上注意を しては支那崎で未納料金を しては支那崎で未納料金を

要する 数収するから 豊田 と

天皇祭3日であるが平日の間延伸

を親け逮捕に努めてるなが依 に就いては各署で必死の活動 に就いては各署で必死の活動 に就いては各署で必死の活動

□□丁目五番地四十七號ノー

△現金受拂事務の祭日扱ご時

さ語つた

哀れな人々に

歳末の同情週間に際して

全質が別扱郵 W 物の範囲年質郵便の特別扱

手を終す真接端洲9 宛年賀狀は稚屬昭日

総日の商部制品の副

用日は年後六時心以扱ふ

本郵便量所在州外

通り取扱ふ

講門は下宛の年賀計

見るさたの頭であ

新京キネマの美學

分が出るわけで、殊に食料品は、一般家庭で自家用より贈 答品さしての饗行会良く、二 十日頃からが、一番費りあけ が上るだらうさ

新潮社では 結めての事である。 右につき

あの附録は小説だから問題

はならないさ思上が

ルル税額で全部没收された。 簡単6「6米戦未来配」は4 / 簡単6「6米戦未来配」は4 /

で没收さる ホノルル税關

年末から年始

郵便物差出

の注意

脫獄三犯

0

行方依然不明

當局聊か落膽氣味

年賀郵便は二十

日から受付

贈答品

は遅れぬ様

理電箱詰の値段の協議をしたの代表者を同署に集め正月料

重箱四段階。三十種人

スマスの贈り物

処質は實用品

と待つてゐる、市中聯合質出 に膨れたポーナス入りの財布

この程新築原植した説町の新京キチャでは来る二十日から二十三日まで三日間の上沙高の二割を十四日から催されての二割を十四日から催されてある農水同情週間の賃情金さして獣金するが。二十日から

り三戸支配人は次の如く語る 館主もキャマ幅さしてかね てから困つでゐる人々に対 して何がしようさ思つてゐ

以上発料軍事郵便の外は他で

相互間に致着する有

11月二十五日より一月七日

ロペラに

香場から別生の一丁目は官の保証助氏 中央語り二四

八番地から祝町四丁目十

豐藏氏

本価通り七

及郵便業者の料金に

Z

觸れ重傷

十八番地か6羽衣町三丁目十八番地か6羽衣町三丁目

郵便に依るのが使べ

6此の種の年質狀 へ億出した方が速

和である 地日本局

取立は一月一日より七日窓 一二十五日より1月三日窓

権を待つてのるがいるとか落

の気が残はれる

である。斯京總領事館の捜査総三名の足取は全く五里霧中

コ戦ノー

▲田中養族氏(山梨縣)大連か

の慣用 語を印刷すること と 一種質新年」 等四字以内 名刺針人の第四種(名刺に

十月

お正月料

理

年號附錄

つもりです のもりです

産黨匪約百名は暗夜に弾じ

日の出が

値段が决まりました

昨年とは大體同じで三種類

ほれば容赦なく處分

世代学水 間取りの都を設け知らずくに木材部に を設け知らずくに木材部に を設け知らずくに木材部に を設け知らずくに木材部に を開断なく焚かれる煙出し箇 を開断なく焚かれる煙出し箇 を開から引火へ、消炭が織る 承認さへ得てしまへば彼は節はれてゐない。つまり建築の 火事の原因さなるこさものる き云ふ。 往音破痕術の英词租 発ではこの點に非常に留置し 発ではこの點に非常に留置し 吹き廻しで火の粉がはいつて煤を吹き出し積り積つて風の

で技師の立首館資を築むやう で技師の立首館の経ったが、火系に 場の経ったが、火系に

租業であるる際間から天井へてしまる、煙突が木材部に接は取返しのつかぬ火災を起し 料が考案され。

に素通りさせて了らので、は折角苦心して飾窓を飾りつは折角苦心して飾窓を飾りつは が成 はずるとさで 窓時なき

で少なくさも百五十圓、甘下二十一、二日は晝夜二回

一作子 窓を凍らせ すがに臨西亜は長年研究して あるだけに帰窓の不凍法を心 得てるる、即ち硝子の開面を 得てるる、即ち硝子の開面を 下に積んだ鋸屑の中に流れ落 ちる力法をさつてみるが、こ ちる力法をさつてみるが、こ は他はする力法をあり、これ は流れであれば約一週間は凍 は流れであれば約一週間は凍

リン等で拭きあけ、水蒸気が

突悚 瓦積みには特殊な整積材から高さまである。 脅像へら 凍るガラス窓 内面に建収し 煮が肝要である

凍らせぬ秘決は? これは簡單で安上りだ 出來ても水玉が硝子に止らず たが氏は十月第二松花

如くな敬せられてみたしたること一再ならず。 部にの物

湖に参加し常に編洲人に卒先 (に駐屯中の瀟洲國日野崎兵支

し兵警に宿泊するや夜一時共少数の兵員さ共に呼蘭街に向し該部隊を位置せしめ、更にし該部隊を位置せしめ、更に 後一時國馬牌千到着。 月六日午前八時第四營本部及の吉林省匪大討伐に隠し十二 要するほごなるから細心の注 さした手ぬかりから祝耐氏の きした手ぬかりから祝耐氏の 木藤騎兵

から

差出方

を発れねこここなるから此 総方法に依る結果機合選 と 薬酔に限り平素ご異なる選 が 設到する医内地及朝鮮宛

日签は特別扱でない年質状 十二月三十一日から一月五

の明面点用の通信には有封

塩をあげて逃け級ふ中を、千 キハラ油に転火、黒煙業々ま して『キャッ』にーフ』の悲

電話二〇九三、二二五六番
造其他成績により手當を支給す御希望の
競其他成績により手當を支給す御希望の
臨時女子事務員二名募集給額金二圓三十

臨時女子事務員募集

読および其他の場合語 氏は十二月七日午前一十二月七日午前一十二月七日午前一十二月七日午前一十二月七日午前 表題を受け名思の戦死 美事なる戰死 百名の商品を

物音 に致き巡外

死を逐けたものであられる経の戦したるも魚家畝せず一環税

新京公學校で

借入も同日午後一時から全見想の音及るせる目のをもつて想の音及るせる目のをもつて新京会県校では見童に衛生思

慈父の 功を炎 江附近

國軍の吉林省匪討伐に

第八連本部を観楽し歩哨及術 学尉は此の

△暗答品小包の差出方 健衆の例に依るさ年末には 健衆の例に依るさ年末には とをしく延音する傾向があるから押詰らぬ内になるべ く早く出すのが宜しい 全不首の内地朝鮮宛楽書通

一杉一三 を見れば多のたこころ敵は漸次接近し来ならので直もに附近に居合せたる兵員を指揮して射撃を行たる兵員を指揮して射撃を行 信

士の討入

b

努めた結果大事!に至らず消化を引き扱いから大きな解析

場所

八島通朝日通角裏

三間一戸邸に米間附風呂和政権ア

向貸家廣

告

昨日は記念日

布閣を続いて丁つた

P

治一週間の火傷。千代香は库 しさめたが。茶目公は手に全

兩小學校でも催し

があつた があつた

日州町二丁自十四番州中山

滿臟病院前

話

八七 -司 香

四公

電水氏長男猫洲男さん六日出生

全滿聯台婦人會

代表者會議

本花園町□丁目四十八號ノ□□田出生

のにした、宝町小単校では當 会十銭でぜんざい甘栗の喰ひ 受十銭でぜんざい甘栗の喰ひ

を成立は大和魂の花さ歌はれた義士討入りの記念日に明宮 するが西漢湖小線校ではその日午读一時から四年生以上の 日子读一時から四年生以上の 見置は自治會の主催で義士曾 を確した。先づ幹事(見童)の 開會の辭から初り潮川校長か 「発士についてのお話あり等 常六年の一見査のお話。等常 五年見童の明讀。前原訓導が

全議聯合婦人會代表者會納が 秦る十六日午前十時から海軍 秦の十六日午前十時から海軍 長館會調室で開催されるが営 明序で行はれる 明序で行はれる 「日出発」。 「日記事。 情記選事。 情記選事。 情事思決者。 「日記事。 情事思決者。 「日本者 「日本 「日本者 「日本者 「日本者 「日本 「日本者 「日本 「日本者 「日本者 「日本

新卓属会示第二一號 野京地か再務所是 新京地か再務所是 新京地か再務所是

新京警察署告 示明八號 本月十八日 申リ二十三日 を 京附屬地 ニ於テ野大闘徐ラ行 京附屬地 ニ於テ野大闘徐ラ行 明和八年十二月九日 新示警察署長 高山勝司 高山勝司

## | 大林洋| | 大林 (雙が併け東入口) 提

改築開 披露 す

E

鹽

乾魚類の

祖合せ文具一圓 三十錢位のものが一番多く費出。四。五圓する女兒用服は全く費出。四。五圓 二二十錢位の

連賃値下斷行

場合は対前に入れ又は十女中に堅く縛って、ボストに入れても宜しい、若しポストの中で紙が解け父に切れたの中で紙が解け父に切れたの中で紙が解け父に切れたの中で紙が呼けるれないから特別扱が受けられないから

顔を出したり、屋根、物干し台で 立ち見しないやう戦守骨の行列は輝から中央通りを続て祝町を左へ折れて太子僧の行列は輝から中央通りを続て祝町を左へ折れて太子県体は緩つて輝頭まで出迎へに出るやうにしませう、遺脈 神の通りけふ午 後三時二十 五分着列車で 哈爾樹から 転 神の通りけふ午 後三時二十 五分着列車で 哈爾樹から

爾氏同作更任挨拶に泰社した高雄低大連支助長に輝む後任をしての野飲夫氏家任十四日としての野飲夫氏家任十四日

央炎館與安胡同四百五號中

鐵路總局が社會政策的に

愈よけふから實施

宛名の書き方 宛名の書

雕尚看護兵遺

長春寺に

大十五体の遺骨を16に内地 を設された。十六日輸送の に安置された。十六日輸送の で変いに具存寺に移され間寺

▲増田観作氏(静岡縣)大連か

居住消息

本権通り大十

から敬島通り一丁目三番地の場所)大石橋

☆信川正氏中央頭り五十番組

ら花園山二丁旦二十五二へ

1

顔を出したり、

第〇〇個第〇〇解析

四日午後

安置

三圏する女見用服は全く響れない。 又クリスマス用品の外ない。 又クリスマス用品の外に一般質出しのドサクサ紛れに同さかして質つて丁はねば他によったは損をするさ利つてる

社會改革の引機から逆を三級、を電施すらこささなった。白 り好評を受けて考る 簡に終ては糞に國線の厳客運 魚類を四級品に變更(連貨二 廉價に日用品を購入するこさ (季天十四日發暖通) 雌略曲 一品さして取扱つて居た側。乾 異純により沿線各地の似氏は

一値段 周五十銭から三関までで、文房具で一番大衆向きなのは鉛楽で、一打大衆向きなのは鉛楽で、一打大衆向きなのは鉛楽で、一打大衆向きなのは鉛楽で、一打

にかけてがキントに費出し気

「子供服の裁方を経方」などの

一日下 - 千枚程度しか出て馬らず、十四日接分寒が出て馬らず、十四日接分寒が出て馬らず、 世間最ら良いで、 健身客足を誘っているので、 これから月末

一土宝田 順遠壁、高の「國定忠次」資金精ミナンセンスものさして杉荘分、高津安子共演の「お前さならば」で使子共演の「お前さならば」で

取寄せることにしました。 取寄せることにしました。

方に宛つる年賀状は一日も平ので配端する仕組なるゆえ遠の日常印を押し

事務年末首ノ郵便

年末首通信と小包一月一日より五日で

昌がプロペラを回帰せしめた 特で奉天行漢洲航空會社旅客 終て奉天行漢洲航空會社旅客 終の際鮮人使用人李健

世出後閉から山吹町二番

中央組の経神調

く窓出す方が種受人双方に便

われ等

別値なしき。向これがためず 病院に避ぎ込んだが生命には れ資価を質つた、李は直っに

香地から興安胡洞四八十五

富士町七丁目三

畑から山吹町二番地 常磐町一丁目

行不能さなつた

新開聯合支局長

大氏 富士町七丁目

氏 中央通り十四 錦町二丁口三香地

遺骨

六十五体

けふ午後三時着く

が一番宜しい。但し少数の。 差出場所 郵便局の窓口

用意されてでる

女郎校生徒向きに「毛糸編物」帽子。小供雑誌、服に限られ

想では

の上映は片岡千恵蔵

た矢先に数化画体で同情週

△特別扱の明閲

兼書は二銭であるから特 状は二十グラム 容毎に四

ハ、月掛貯金の集金 一月一

日本の[1]日記

往城を要する

十二月二十日より二十九日

金献金を思ひ立つたので、

容の出足が悪く輸入組合の豫

6 仕出出前迅速

小天

4三、特性 五丁

の生徒さん方の題科のオモチの生徒さん方の題科のオモリ 是は非常に撃に配罪の受信は全く出来ないの

最も安く。子供達にも元分出うにするのです。こうすればを得き出させるや

の性能で

ロオルガン筒破撃器完成

さいふのが常合社国特の各械別に右電流段菌時間十九秒間/

●映上扁全時同てしさ業興禮御員滿●

てるます。是は放送所に確近 が利用出來ます。然し勿論當市中は何 出来ますれば勿論當市中は何 が利用出來ます。然

スパラガス、プリモーサス、すのです、花の面に思ひくの花を掃しまひくの花を掃

1

其の火は球獣のこまでわりますけ は中をのぞいて真空管の数を はたて戴けばすじ分るこま

リンを出産シベリア及び網所 の入報に依わば十二日ベル の入報に依わば十二日ベル

格は五十飛乃至三百飛さいよ さが出来るさ、南邊音パイプ をが出来るさ、南邊音パイプ

大河內傳次郎二役 大河內傳次郎二役 大河內傳次郎二役 十五日晝夜二四 中五十 十五十 曾子 十五十 曾子

店賣切れの節は

獨飛行家

ール氏

すれば素人音樂家でも一歳の製作に従事し、此の製器を使用

年間オルガン筒辞解器の考案 倫敦在住のジョン・ランド を鳴らす文の成力が

一般には高呼器

らますし、一般には高弊器 空中段に 受けたもの 火で

りませんから助力さして

の品答贈御

三七八三話電

店盟加合組入輸

ます。貝これは増幅を一 五間で出来るもの

新京中央通四八

日本乳電力投南法施行 大阪 即ち橋乳中に投菌用電流を十九秒間法に成功愈よ採用し出 した、即ち橋乳中に投菌用電流を十九秒間放入すれば夏季でも五日間は高質精良を保ちてもが見ば高質精度を保ち

海の外から

余事に入りましたが扨て

の所は高弊器。

一番音を歪ま 次いで受信機

調整を誤らない限り

い音の歪は起つてるないのでして害りますから故障か又はして害りますから故障か又は強かに品質の好い装着を使用

安價に誰にも出

來る

クリスマスーデコレーション

子供自身に作らせ

6

が。こくでは説明の便のにめが。こくでは説明の便のにめ が。こくでは説明の便のにめ に分けて考へます

材料だけ異へるこさにしたいるべく千供自身でなさるやう

ものです。そうすい

(大人よりかへつてよいののです。 そうすれば子供ら

は在哈ドイツ領事領事務官 を通じて満州國に對し正式に 破券の下附を申出でた。同氏 の上典行きは蔣介石の招聘に あよ典行きは蔣介石の招聘に

が出来るかも知れませ

カシ高くなります。 極い分であります。 悪い材料 を使ひますさ何うしても音が なでひますであります。 悪い材料

ふのが使用され値段も安く。 でせか。 近頃は歐洲唐檜さ云

聴習であります。それで受信を戦波に化えて更に昔に縁す

は成っぺく忠でに原音に復す機さして第一番に必要なこさ

りを機性にして昔買をよくし成る場合には感度なり音量な

ません。倒真空管は種類に彼いのが感味がよいもので限り ひますから安い球を使ふ結果つて感度なり帰稿だなりが違 さんと「新しい型の真空情が さして球数の割に感度の 무

金鷹く此の大犠牲

どうして出來るから

せたフェフペリン飛行船で期 でお馴染みのユー には完成の見込みが立つたのロに終て着工。一九三四年中 通収備乙國さプラタル政府間

防止に陥へることさなつたを併置使用し、徹底的脱走を つて。右回境守衛常島ではでするを飛んだ犯人院去の不祥するので、之を放置 米量の境には最近。國境突飛出者防止

0 2

**AE** 

0

新聞雑誌の閱讀に

宴會その他日常社交に

励あれ

らぬ

た。明ららえたことは大力で化ラデオが始まつて以来非常に音の研究が進歩致しまし

々のクリスマスに相應しい形ポール紙を呈や船。其の他色

・フリーが出來たら厚い

大切なのであります。そこ は電気よりもむしろ昔の ありますから、私共に致 デオは背に初まつて、昔に

いかも知

四平街署の

大捕り者

四

平

街

昔に直して晋三曜氣。電氣・

ドロイドの人形。テープ等を を貼りつけたものや小さいセ

四中海署では年末期を目前に 出版が附屬明殿道東湖州街を 部院が附屬明殿道東湖州街を 部院が附屬明殿道東湖州街を 高行中事動不審の一瀬人を發 見本署へ連行の上取調べたら 見本署へ連行の上取調べたら

枝の要所々々につけます

デコ

であります

利明日のプログラム (奉天より)

十二日,公開 新宗本不マ

めて軽便な受信機でして、値 は一切真 空管の使用しない個

球等的は再生式高層が

に種々の時類があります

さ城池以は一球に二球三球

丈夫な糸で権き付い水苔をかナナスなごの青い葉で獲みてナナスなごの青い葉で獲みて

受信機、氧次管受信機、真空管

かあるかと中しますさ。鰻石この受信機には何の様な種類

に切つて中心を作ります。そ 厚みのある板を適常の大きる

してゆし温つた水苔をこの上

(五〇)ガペ十線名一園さなつ慶安街特産商聚費合事曲製作

後九坪半頃四平街附屬地東區

同家に執務中の日永昌(九〇)て各自祭院、棍棒を所持關人

各地で旋風的人気を

題は ・ は大年中の ・ はまる ・ はる もる ・ はる もる ・ はる ・ はる もる もる もる もる もる ・

の絶對及ばぬ名編輯

際誰方も一

本を座右に備

へられよー

横一三尺三十五分)

れずの規定に依

市内到る所の軽貨展お

醸造元北

海屋酒

造店吟

侯爵家御秘藏 一日日本五寸

御物 特別御許可

い小説の名 下さい

炭石

電話二五三七番 茂 洋

村理―美味 位迄の宴食が出来ます 低廉

角準修二目丁三町船人京新 香六百人四篇笔

大碗信を以て

0 4

開 店 奉

酒造店

發賣元

なく

T

はなられ

北海屋の

『雪の花』

製造元

